

美容と健康寿命を高め

元気な日本へ

株式会社 銀座・トマト 代表取締役 CEO

かつみ ちえこ
勝見 地映子



聞き手
むろなで いさお
室館 勲
(株式会社 潮流社
代表取締役社長)

前例にとらわれず、経験を活かす

——勝見地映子社長は「ふかひれコラーゲン」「アコヤ真珠粉末」「バラプラセンタ」「植物幹細胞」など、数々の美容と健康に重要な技術・サプリメントを開発・販売をされてきました。いまでこそ美容成分として「コラーゲン」は有名ですが、勝見社長はコラーゲンを世の中に広めたパイオニアでもありま



勝見 地映子 氏

す。どのような人生を歩まれてきたのでしょうか。お生まれからお伺いできますか。

勝見 生まれは福島県いわき市です。父は地元漁業組合の組合長をしておりました。地元で生まれ育ち、高校卒業後に上京します。徳陽相互銀行(当時)の秘書課に就職しました。その後、不動産会社の秘書を経験したのちに、結婚を機に退職しました。当時の夫は遠い親戚にあたり、医者の家系で産婦人科を経営しておりました。私は産婦人科を手伝うことになりましたが、私は医師ではありません。だからこそ、患者さんの食事の世話など自分でできることを探し、患者さんの気持ちになつて考えることができました。

私自身も二人出産した経験から、当時の産婦人科の妊婦の扱いに不満を持っていました。

もともと美容関係が好きだったこともありましたが、当時、妊婦の方に対するメンテナンスや管理は非常に悪かったです。

——患者の立場で不満を感じたこともあった。
勝見 具体的には、出産後にお肌がガサガサになってしまふ。髪が自分で洗えずベタベタするし、着替えられないので身なりを整えられないのに、急に親族がお見舞いで来てしまう。食事が美味しくくない。お風呂に入れない。太ってしまうのです。すべて自分の経験からきた不満もありますが、これを改善した産婦人科病院を作りました。

急にお見舞いに訪れられないように、面会時間を制限。シャンプー台を設けて、看護師には美容室と同等のシャンプーサービスを提供できるように指導しました。清潔なお風呂

にも入れるようにしました。産後数日の間に、子宮の急激な収縮などがあるのですが、この期間にエステなどケアをするとキレイになるというお話しを海外の事例で知っていましたので、産後エステをプレゼントしました。楽しく食事ができるように、美味しいステーキなどを提供し、食器は同じものはいりませんでした。大部屋でも周りに気を遣わなくて済むように、各ベッドをカーテンで仕切り、小さなテレビをつけました。こうした、妊婦さんの立場に立った産婦人科病院を立ち上げたところ、大好評をいただき、口コミで広がり大ヒットしました。

——妊婦さんの立場に立った産婦人科病院を作った。

勝見 母親学級も実施しました。ただ勉強会

したのが始まりです。

——前例にとらわれずに、ご自身の体験から「こういうものがあつたら良い」ということを形にされた。

勝見 赤ちゃんに授乳しているときにお見舞いに来られても困るし、髪や身なりも整えられていない。ですからお見舞いの時間を制限しました。産後はカルシウムが不足しますので、飲み水はカルシウム含有の水にしました。食事の時にはメッセージカードを置いて「ようやくお母さんですね」「二人目ですね、隣の方は初産ですから、相談に乗ってあげてくださいね」など、その人にあつたメッセージを差し上げました。産後エステとシャンプーも喜ばれました。いずれのサービスも、現代では常識となっているものも多いかもしれま

をするのではなく、分娩室で講義をしました。私が妊婦の時に一番怖かったのは、分娩室がどうなっているかがわからなかったことです。だから私は必ず、分娩室で母親学級を実施しました。あなた達が出産するのはここですよと、一人ひとり分娩台に乗ってもらって、出産時の呼吸もやってもらって体験させました。だから本番に対する安心感があります。それがなく、いきなり分娩室に入ると、思ったより広くて、人もたくさんいて、待ち時間もわからない中では不安があります。百聞は一見にしかずということ、事前に体験してもらいました。

すると、母親学級も予約が取れないほどの大人気になりました。全て、私が「こういうものがあつたら良いな」と思ったものを実現

せんが、25〜30年以上前の当時では画期的だったと思います。

「ふかひれカラーゲン」開発の苦悩

——そういった、相手の立場に立って、勇気を持って変えていき、喜んでもらって、という積み重ねが今につながっているんですね。

勝見 私の人生を振り返ると、ずっとその連続だったと思います。「ふかひれカラーゲン」を開発した時と同様です。妊婦さんのお肌の良いものを、と探していたところ、カラーゲンがお肌に良いと知りました。さらに、気仙沼のフカヒレ工場を訪れると、作業している女性たちがみなお肌がキレイで、これを商品化して世に広めれば、妊婦さんをはじめ、女性がより輝けると思いました。それが始ま



病院内での評判も非常に高かったです。「これは一般に販売したほうがいいよ」と多くの声をいただきました。

しかし、評判が良いことと、売れるかどうかは違いました。私も広めたい一心で、大量に商品化をして一万箱を製造して売り出しましたが、これが全く売れませんでした。大々的な販売会で、売れたのはわずか三箱。

医者から「これが身体に良いから飲みなご

りです。

病院で妊婦さんに試してもらったら効果も抜群で、お肌の調子が良くなったと、

い」と言われたことは聞くけども、自分でお金を出してまで買いたくない、ということが実態だったようです。確かに、当時の製品は生臭かったです。医師の資格を持っている訳では無い私は、大した影響力もなかった。多くの人を動かすには医者という資格が無いとダメなんだと感じました。

——良い物にもかかわらず、売れなかった。

勝見 しかし腐っていても仕方がありません。家には大量の在庫が積み上がっていますから。何とかしようと思いつつ、そのふかひれコラーゲンをずっと飲んでいたら、私の人生の悩みだったお肌のそばかすがポロポロと落ちた。そして見事にきれいなお肌に生まれ変わったのです。やっぱりこれは多くの人に試してもらいたいと思いました。

古今東西で愛用された美容食

——それほど、フカヒレのコラーゲンはすごいのですね。

勝見 お肌は主にコラーゲンとヒアルロン酸とコンドロイチンの成分が重要でして、フカヒレにはその全てが含まれています。フカヒレはサメのヒレです。サメという生物は、太古の昔からほとんど形が変わっていません。生物としての生存能力が非常に高いのです。サメの寿命は非常に長く、100年以上生きるサメもいます。

免疫力、再生能力の高さも特徴です。常に泳ぎ続けたり、ケンカしたりしてヒレが傷つくことがあっても、再生能力が高いので問題ありません。新たな歯が五段階も控えている

ので、歯が傷ついたらすぐにごっそり生え変わります。発がん性物質で満ちたプールの中で20年間泳いでいても癌にならなかったという、コロンビア大学の研究もあります。

東洋医学の「本草綱目」という有名な書には、楊貴妃もクレオパトラも始皇帝も、ふかひれと真珠と一緒に煮込んで食べていたという記述があります。フカヒレは古今東西で愛用された美容食・健康食だったのです。

——サメの免疫力と再生能力、驚きですね。

勝見 フカヒレの高い美容効果と、私の実感も相まって、ふかひれコラーゲンがお肌に良いことを周りの人に教えたくて必死に努力しました。しかし家は在庫の山です。本来、一箱1・2万円だったのですが、何とか試してもらおうと、「一箱はプレゼントするから、

「一箱を半額で買ってくれないか」と、友人たち頼み込んで回りました。二箱で6千円で、すから、本来の四分の一の価格でも、試してもらえらるよう願ひしていきました。試してもらえらたら、効果効能が抜群ですから、少しづつりピートや口コミも増えることになりました。

多くの人に届けるためには箔が必要だと考えて、海外で様々な賞に応募をして受賞したりもしました。そして、テレビショッピンングのQVCにて売り出したところ、大当たり。最大、一日で2億円分売れました。そして「コラーゲン」ブームが巻起こりました。

——一日2億円はすごいですね。

勝負 ふかひれコラーゲンがそれだけ日本中に広がっていきつかけを、私が与えられて

大学大学院にて博士号に挑戦して、60歳で博士号を取得することができました。真珠食の研究、植物幹細胞、バラのプラセンタの開発などにもつながっていきます。

——あくなき向上心・探究心を感じます。植物プラセンタの開発に至った経緯はいかがですか。

勝負 プラセンタ、つまり動物の胎盤には、栄養が多いということで古来から健康食として食されてきました。しかし動物性プラセンタには残留ホルモンがあり、私は違和感を覚えておりました。人間で言うところ、胎盤は安定期までの妊娠3ヶ月ごろまではキレイで栄養に満ちていますが、安定期の5ヶ月を過ぎると、胎児の排泄物などでどんどん汚れていきます。動物性プラセンタにはそうした残留ホ

いると考えると感動でした。人の時間を頂いている。生きてる時間を、私の商品で生きてもらっている。そのやりがいもまた張り合いになりました。QVCさんには様々支えていただいで感謝しています。多くの人の理解を得られて良かったです。

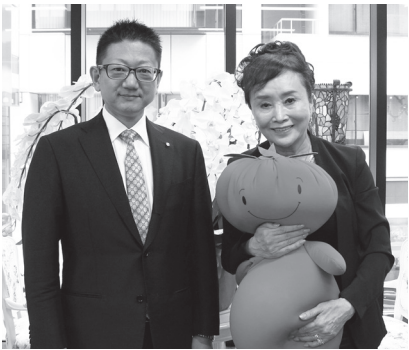
現在、ふかひれコラーゲンを韓国にも提供しています。韓国は美容大国なので、本来自国で作ったものしか好まれないのですが、ありがたいことに韓国プレミアムブランド大賞健康機能食品コラーゲン部門でナンバーワンを5年連続で受賞しています。

博士号取得とバラプラセンタ

勝負 一方で、商品の賞だけではなく、自身にも学術的な資格を持つとうと思ひ、明治

ルモンが堆積するリスクがあります。なので私は植物の「胎座」を摂取することができなにか、という可能性を模索しました。ドイツのリームシュナイダー博士が植物のプラセンタを研究していることを知り、根気強く何度もアプローチしたところ意気投合しまして、研究を始めました。植物の胎座は量が少なく、栄養のある期間も短いため、1kgあたり何千万円もするため採算が取れず非常に製品化が難しかったです。韓国でバイオ技術の研究・開発し、何とか製品化を実現。今では植物プラセンタ、特にバラのプラセンタを提供できるに至りました。

——そうしてバラプラセンタが出来上がった。**勝負** このバラプラセンタが脳に良いのです。その実体験がありました。ある時、私が脳出



品・化粧品を
開発しており
ます。年齢・
性別を問わず
皆様にとつて
これからの人
生の一助とな
るよう、これ
からも日々研

血と脳梗塞をしまして。全く話せなくなつてしまいました。しかしバラプラセンタの錠剤を飲んで、バラプラセンタ原液を飲みました。すると2日後に回復したのです。顔の引きつりなど残ったりはしましたが、リハビリできる程度に回復したのです。不自由なことは非常にツラかったのですが、バラプラセンタのお陰で回復することができたのはありがたかったです。当時は、頭で考えていることと違うことを発したり、カラオケに行つても自分が歌い終わる前に曲が終わつてしまつたりもしました。今では、問題ない状態にまで回復できました。

—— 奇跡の回復だったのですね。バラプラセンタの効果の大きさを感じます。

—— 最後に、読者に向けて、メッセージをお願いします。

勝見 全てのお客様がキレイで若々しく輝くためのお手伝いをしたい。

私たち銀座・トマトは結果を出すのが仕事です。「世の中のあらゆる人の美容・健康のため」をモットーに様々な原料から健康食

世の中のあらゆる人の美容 健康のため

—— 健康の注目度は年々高まっていますね。

勝見 私はずっと、人の健康に寄与したいと思つてやってきました。美容より先に健康が重要だと考えています。健康の上に美容があります。日本人の寿命はどんどん伸びてきました。現在、100歳以上の高齢者は8万人を超えています。平均寿命は男性で80歳を超え、女性で87歳を超えて、全体では84歳ほどだと言われています。ただし、健康寿命は73歳くらいだと言われており、ここには10年以上の開きがあるのです。私はこの健康寿命を伸ばしたいと思つて、勉強し、研究し、開発して商品を世に広めていきます。日本を代表する商品、企業にしていきたいです。

究・努力をしていきたいと思つたので何卒宜しくお願いします。

—— 本日はまことに、ありがとうございます。

■ かつみ・ちえこ ■

美容研究家、コスメクリエイター、真珠食研究家。福島県生まれ。株式会社銀座・トマト、株式会社クレオパトラ、株式会社ヴァイタル・ローズの三社を経営する。2000年「ふかひれコラーゲン」を発売。2004年、国産アコヤ貝真珠を使用した真珠粉末の開発・製品化に成功。2011年、明治大学大学院グローバルビジネス研究科卒業、同年、バラの胎座から抽出した世界初のバラプラセンタの開発に成功。現在は三つの美容・健康食品会社を営む傍ら、女性にとつて永遠のテーマであるアンチエイジングを中心に、東京大学・徳島大学と共同研究し、新素材の開発に取り組んでいる。